

■児童・生徒の学力の状況

- 「全国学力・学習状況調査」の結果から、国語・数学のいずれにおいても、無回答率が全国および東京都と比べて高く、問題の内容を的確に把握する力に課題が見られる。
- 「全国学力・学習状況調査」の結果から、国語・数学のいずれの教科においても、学習意欲は高いものの、自信をもって「得意」と感じている生徒は多くない。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 板橋区授業スタンダードSを取り入れ、「自己選択」「自己決定」「自己調整」の力を育む授業を取り入れること。
- 言語活動の充実を図るため、グループディスカッションを通して他者の意見を聞き、自分の考えを整理し、発表する活動を取り入れていくこと。
- 総合的な学習の中で、自ら課題を立て、情報を収集・整理し、発表する探究的な学習を取り入れること。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 「板橋区授業スタンダード」に沿った授業を実施し、授業の活動に適したねらいの設定を図り、生徒自身の言葉や表現による振り返りを図る。
- タブレットPCを利用した意見集約や振り返りの実施、デジタル教科書の活用、採点テストやすらドリルによる弱点把握を行い、効果的な教育活動を図る。
- 「板橋区授業スタンダードS」を効果的に実践し、「主体的、対話的で深い学び」を目指し、自ら取り組む生徒を育てる授業を推進する。
- 探究的な学習を通して総合的な学習の時間を充実させ、読み解く力や、思考したことを的確に表現する力を育成していく。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	視点2 読み解く力の育成	視点3 総合的な学習の時間との連携
○選択や自己調整を取り入れた学習活動を一部授業で導入し、ICTを活用して振り返りを充実させる。教員は伴走者として学びを支援し、校内での実践共有を進める。	○多様な資料を読み比べて根拠を明確にし、自分の考えを形成・表現する力を育成する。あわせて、対話や振り返りを通して思考を深める授業の工夫を進めていく。	○各教科で培った知識や思考力を総合的な学習の時間に生かせるよう、教科横断的な視点をもとに課題を設定し、探究活動と結びつける。学びの関連性を意識させる授業を展開していく。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
○総合的な学習の時間において探究的な学習を進めることで、小中を通じて「持続可能な社会に向けて自分たちにできること」を考えさせ、今後の板橋のあり方について主体的に考えていく。 ○合同研修会や様々な交流活動を推進し教員同士の交流や、児童・生徒による学習発表の参観、中学校体験等により児童・生徒の交流を図る。	○教育課程の単元配列表において、総合的な学習と各教科との関連を明確にし、教科横断的な学習を推進する。さらに、それぞれの学習内容の相互の関連性を示すことで、学習活動の充実と資質・能力の向上を図る。 ○全教員が年に一度研究授業を行い、自らの授業を客観的に見つめ直すとともに、協議を通じて多角的な視点からフィードバックを得ることで、課題を明確にし、指導力の向上を図る。	○一人一台端末の効果的な活用を図り、「板橋区授業スタンダードS」を取り入れた個別最適な学びへとつなげる。あわせて、「自己選択」「自己決定」「自己調整」の力を育む授業を通して、主体的に学ぶ生徒の育成を目指す。 ○総合的な学習の時間において、探究的な学習を通じて協働的な学びを深め、発表へとつなげる。

